

「30年の歩み」刊行に寄せて

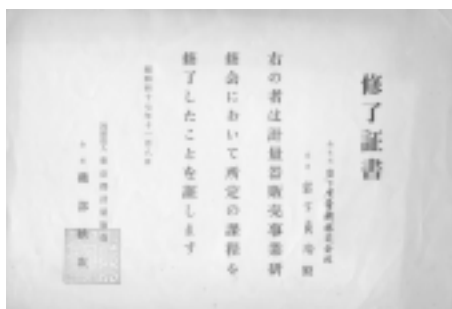
東京都計量器コンサルタント協会 会長 岩下貞治

私ども、東京都計量器コンサルタント協会は、昭和48年2月7日に誕生し、ここに記念すべき創立30周年を迎える事になりました。誠に慶びにたえない次第です。

昭和47年10月より11月にかけて、夜間3時間延べ10日間のコンサルタント資格取得研修会(第1回)に私も受講させて頂いた一人です。(第1期生)

以後昨年迄に21回の同研修会が開催され、受講者は874名に及んでいます。

昭和53年以降、東京、大阪、神奈川以外の府県に通信教育の制度



も導入されて、受講者は併せて1700名程と聞いております。この資格証は資格付与団体である(社)日本計量振興協会によって発行され、3年毎に更新されます。

現在当協会(協会の設立経緯等、詳細は後頁に記載されています)の有資格会員は191名。初代故小川直

久会長のもと、役員諸氏共45名で設立後、積極的な活動を開始、2代故座間勝美会長、3代鴨下嘉市会長、(現名誉会長)と、会員育成増強、及び専門知識、技術の向上に努めて頂きました。ご努力の結果、一時期会員数も増え300名近くに及んだこともありました。各種の事情もあり現在の会員数まで減少していますが、当会の会員は役員を始めとして、適正な計量器の供給により計量の安全、正確な計量の確保に貢献するべく、資質の向上のため毎年数回行われる会主催による研修会、見学会等も参加受講し研鑽に努めています。ユーザーの良きアドバイザーとして信頼され、計量器コンサルタントとして自覚の下、消費者利益の確保に役立つようその使命に燃えています。新計量法の施行、規制緩和、地方分権等が進む中、益々コンサルタントに対して期待が寄せられると思います。計量行政機関、関係団体、との協調協力には特に力を注いでいます。計量記念日行事への協力、家庭用計量器の精度確認事業にボランティア参加の他、都内の市区部消費者展へ参加協力も行っています。特に会員向け事業として、計量器推奨シールの頒布を行なっています。コンサルタント資格者自身の責任において計量器検査を行い、合格品に貼付して供給するものであり、ユーザーに安心と信頼を受けて喜ばれてもいます。

今回、記念事業を行うにあたり、準備委員会を設け担当役員に計画一切をお任せ致しま



したところ、各担当役員皆様の熱意とご努力により、本誌を始め会場の決定等細部にわたり、行事計画を立案頂いたことに本紙面をお借りして心より感謝の気持ちを申し上げます。迎えました創立 30 周年を節目として、計量器コンサルタント協会会員は皆様のご期待に添えるように、会員、役員一同心を新たに努力を傾注する所存です。

おわりに関係各位様をはじめ、会員皆様のご健勝とご繁栄をご祈念致しますと共に今後一層のご支援、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、刊行のご挨拶と致します。